



部会だより

コロイドおよび界面化学部会

若手ワーキンググループの活動状況

はじめに

コロイドおよび界面化学部会若手ワーキンググループでは、若手研究者や学生を対象としたセミナー「第4回未来のコロイドおよび界面化学を創る若手討論会」を開催しました。また昨年度に続きコロイドおよび界面化学討論会において、35歳以下の研究者、学生を対象とした「若手口頭講演賞」の表彰を行いました。

若手討論会

セミナー「未来のコロイドおよび界面化学を創る若手討論会」は、コロイドおよび界面化学討論会のプレ・セミナーとして、北海道教育大学旭川校での討論会の前日9月21日(水)に旭川勤労者福祉会館で開催しました。昨年度までは合宿形式で行ってきましたが、本年度は日中のみのセミナー形式で開催しました。ディスカッションや交流の時間は短くなってしまったものの、昨年度を大きく上回る48名の方にご参加いただきました。

セミナーでは、まず当部会の科学奨励賞、技術奨励賞の受賞経験のある並河英紀先生(山形大)、酒井健一先生(東京理科大)、五十島健史氏(三菱化学科学技術研究センター)に講演をいただきました。講演ではそれぞれ、非平衡界面での空間構造形成、両親媒性物質による界面物性の制御法、企業での商品開発におけるコロイド理論の利用とその戦略についてお話しいただきました。お三方とも、自ら

の研究ポリシーを前面に出した講演をしていただき、学生の皆さんをはじめとする参加者に強い印象を与え、未知の現象に取り組む面白さと必要な勇気に気付かせてもらえる講演であったと思います。

講演に引き続き、参加者の専門を偏らせない形で3グループに分かれ、計12名の方に研究を発表していただくグループディスカッションを行いました。このセッションの司会進行は、近年活躍中の若手研究者の方にお願しました。終了後、ジンギスカンとビールで、研究分野や大学教員、企業研究者、ポスドク研究員、学生といった、それぞれの立場の垣根を超えた交流を行いました。

このセミナーは、同年代の産官学の若手研究者同士の知的交流を通じて、将来的にコロイド・界面化学分野を先導する若手研究者の育成と活性化を図ることを目的としています。普段は話す機会のない異分野の先生や企業の研究者と気さくに話ができておもしろかった、というような参加した学生さんの感想をいただきました。

コロイドおよび界面化学部会は、微粒子、組織化膜、界面活性剤、固体表面など多岐にわたる分野が対象となっていますが、研究分野や手法は複数の分野にまたがり発展しています。今回のセミナー



は、コロイドの異分野の最新の研究や研究者に触れ、それぞれの研究を発展される機会となったものと思います。

若手口頭講演賞

WGメンバーを含む多くの方の協力によって審査を行い、部会討論会(北海道教育大学旭川校)での9件(うち学生2件)の口頭発表を「若手口頭講演賞」として表彰しました。受賞者は部会HPにて発表し、その研究概要は部会誌「Colloid & Interface Communication」に順次掲載される予定です。

おわりに

若手ワーキンググループでは、若手研究者をエンカレッジし、互いに刺激を与え、連帯感を育み、将来にわたって切磋琢磨していけるような友人と知り合う機会を提供したいと考えています。今後も皆様のご支援をお願いいたします。

〔若手ワーキンググループ
飯山 拓(信州大学)・松原弘樹(九州大学)〕

© 2017 The Chemical Society of Japan